

1 事業概要

		課名	経営管理課	事業No.	391
		会計	水道事業会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
事務事業名		水道事業経営基盤向上事業			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市水道ビジョン	
				飯田市水道事業経営戦略	
	法令・例規等			地方公営企業法	
事業目的		対象	水道事業会計・簡易水道事業会計		
		意図	適正な収益の確保、経費の節減により、安定した経営を持続する。		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	平成29年4月1日から簡易水道事業を水道事業へ会計統合し地方公営企業法を適用しました。これにより、水道事業全体の資産状況や経営状態の把握が可能になりました。また、平成28年度に策定した「水道ビジョン(改定版)」や「水道事業経営戦略」をベースとして、長期的な見通しに立った平成30年度当初予算編成を行いました。							
							0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	経常収支比率	%	111.2	109.2				
29年度 決算 (千円)	予算額	0	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	0						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	0							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	<p>・簡易水道事業の法適化についてはスムーズに移行することができました。しかしながら簡易水道事業は給水人口が少ない状況に変わりはなく、非常に経営の厳しい事業となっています。</p> <p>・経常収支比率は目標値(104.5)を達成することができましたが、水道事業、簡易水道事業ともに料金収入は減少傾向にあり、また老朽化施設への対応も増大していくことから経常収支比率の低下が懸念されます。</p>								
上記の課題解決のための有効策	<p>簡易水道事業について地方公営企業法を適用したことから、水道事業全体の経営状況等を把握することが可能になりました。これにより水道事業について長期的な展望に立ち、安定的な経営に努めていくことが必要です。</p>								
次年度に向けての取り組み	<p>平成29年度の決算を検証し、安定経営を持続していくための収入の確保、老朽化施設の対応等について検討します。</p>								